

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	兵庫東流域下水汚泥広域処理場	階数	地上6F地下2F
建設地	兵庫県尼崎市平左衛門町65-10、65	構造	RC造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	24人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年5月 予定	評価の実施日	2022年12月1日
敷地面積	60,307 m ²	作成者	澤田 浩介
建築面積	1,794 m ²	確認日	2022年12月1日
延床面積	6,480 m ²	確認者	澤田 浩介



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

★ ★ ★ ★ ★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★ ★ ★ ★ ★

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★ 100%超: ★

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
敷地内既設建物との調和を図り、周辺環境に悪影響を与えない配置・色彩計画としている 敷地境界側の建築物との間に、緑地帯・駐車場・構内道路を計画し、前面道路歩行者に対して建物の圧迫感を感じさせない計画としている	海岸沿いのため、塩害に強い植栽を配置している 敷地内外灯は場内を適切に運用できるよう配置し、かつ対岸からの夜間景観として鉄骨架構の構造美を効果的に視認できるように照明の配置を計画している
Q1 室内環境 対象外	Q2 サービス性能 耐震性に配慮した計画となっている
Q3 室外環境 (敷地内) 既設建物と色彩を揃え、景観美を損なわない計画としている	
LR1 エネルギー BEIm=0.33であり、省エネに配慮した計画となっている	LR2 資源・マテリアル エコマーク商品や有害物質を含まない材料を使用する等、環境に配慮した建材を採用している
	LR3 敷地外環境 敷地は大阪湾に近接しており、周囲への影響が少ない

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される